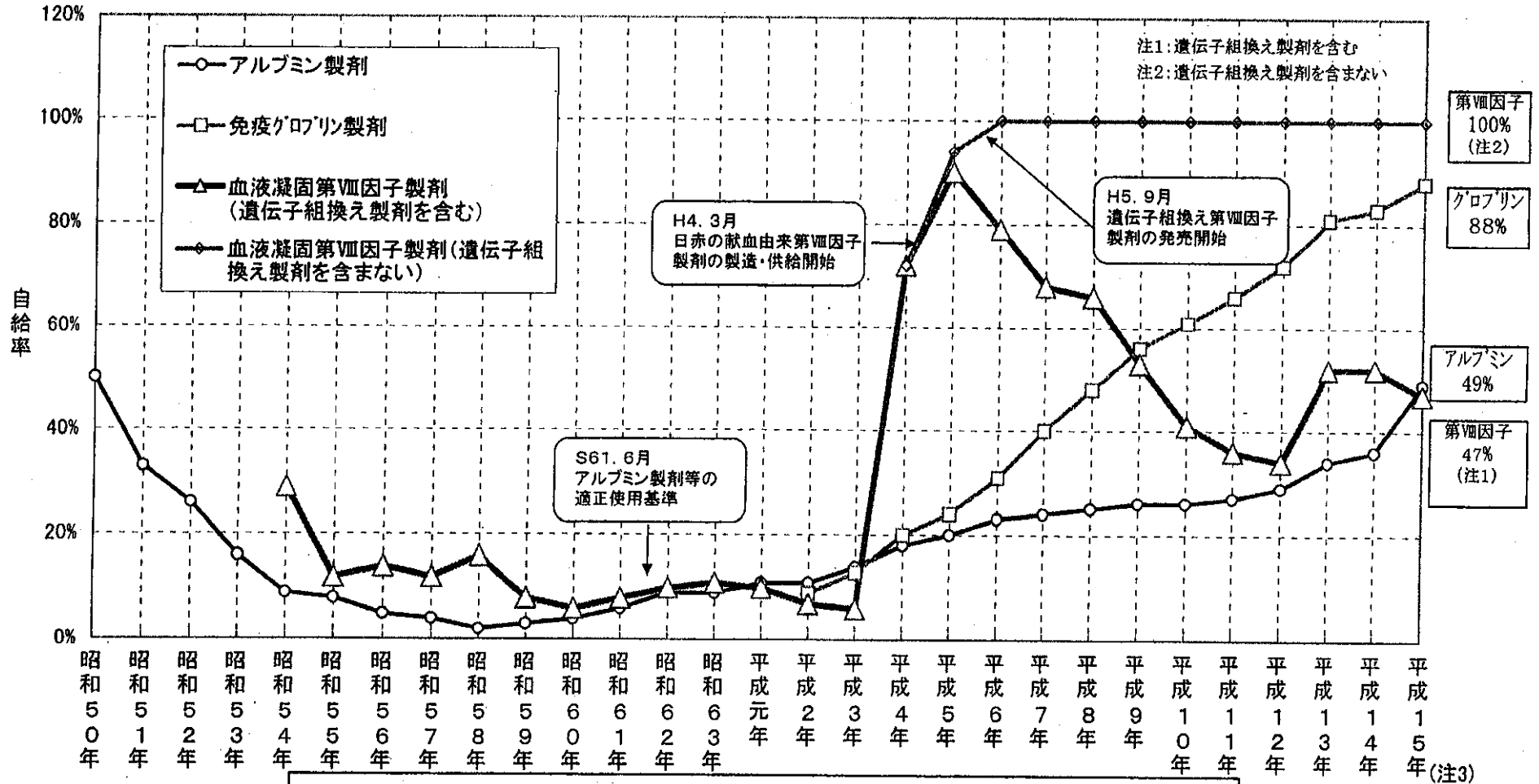


血液製剤の使用状況について (目次)

- ・ 血漿分画製剤の自給率の推移 1
- ・ 主な血漿分画製剤の自給率の推移(供給量ベース) 2
- ・ 主な血漿分画製剤の供給量と自給率 3
 - 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ製剤
 - 免疫グロブリン製剤
 - 組織接着剤
 - 血液凝固第Ⅷ因子製剤(遺伝子組換え型含む)
 - アルブミン製剤
 - 抗HB_s人免疫グロブリン製剤
- ・ 血漿分画製剤の分類表 9
- ・ 輸血用血液製剤の供給量の推移 10
- ・ アルブミン製剤使用量とFFP使用量の関連について 11

血漿分画製剤の自給率の推移

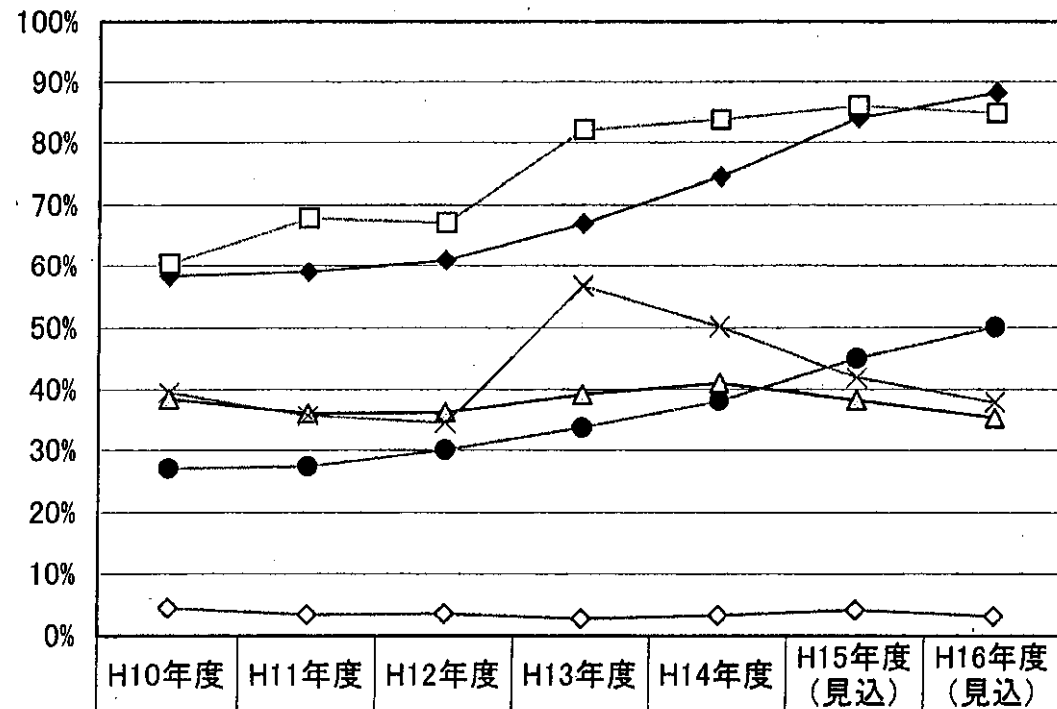


血液凝固第Ⅷ因子製剤の自給率について

- ・血液由来の製剤については、平成6年に自給率100%を達成。《倫理性等の観点》
- ・遺伝子組換え製剤を含めると、自給率は49%。《安定供給の観点》

平成15年は4月～12月の集計である。

主な血漿分画製剤の自給率の推移 (供給量ベース)



◆ 乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	58.28%	58.97%	60.86%	67.02%	74.48%	84.01%	88.23%
□ 人免疫グロブリン	60.37%	67.89%	67.14%	82.13%	83.76%	86.07%	84.83%
△ 組織接着剤	38.47%	36.06%	36.18%	39.16%	41.05%	38.25%	35.25%
× 血液凝固第VIII因子(遺伝子組換え型含む)	39.52%	35.67%	34.41%	56.67%	50.18%	41.99%	37.88%
● アルブミン	27.07%	27.43%	30.09%	33.63%	38.06%	45.12%	50.11%
◇ 抗HBs人免疫グロブリン	4.57%	3.46%	3.59%	2.76%	3.35%	4.23%	3.18%

自給率100%のもの

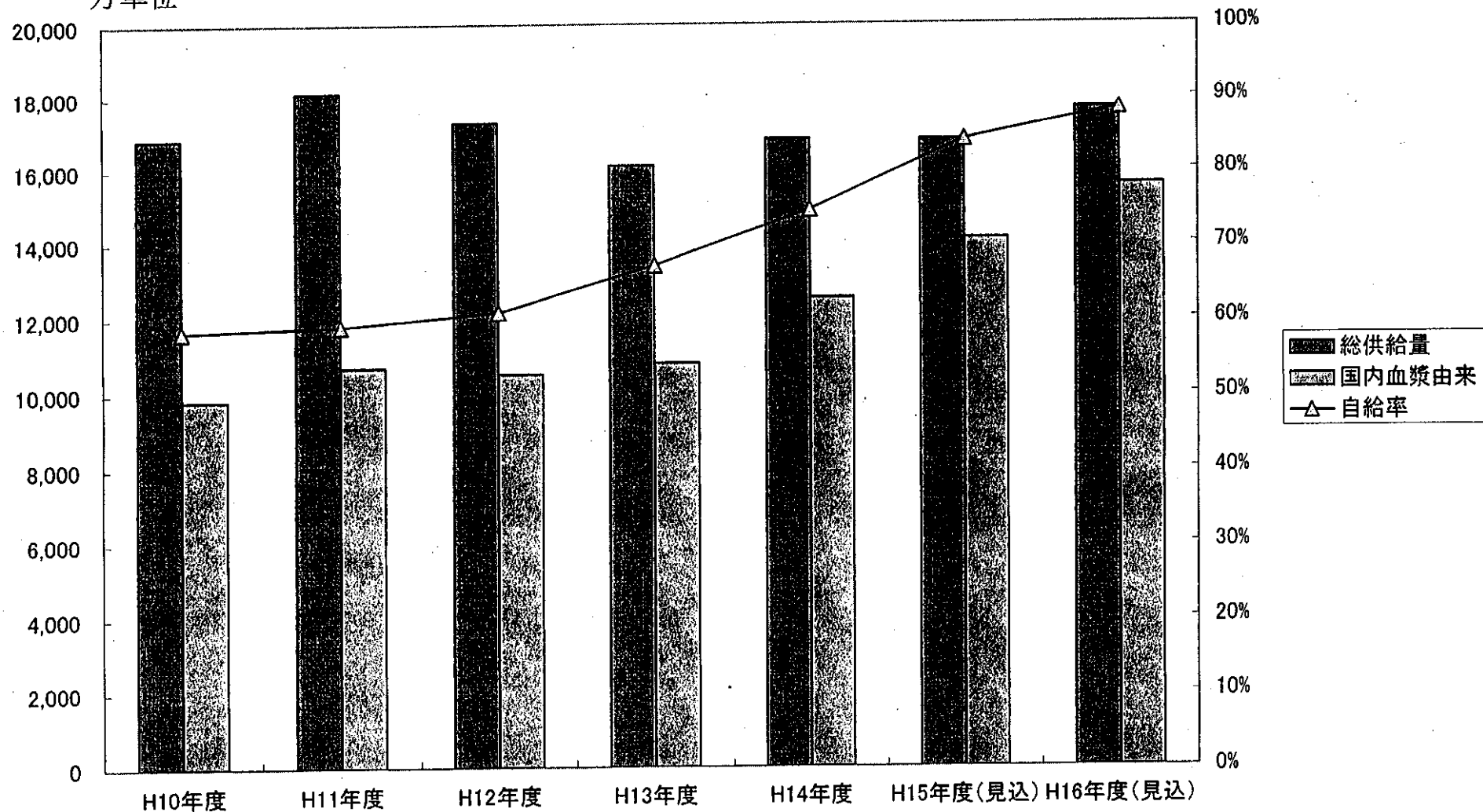
乾燥人フィブリゲン、血液凝固第IV因子(血液由来に限る)、乾燥濃縮人血液凝固第IX因子(複合体含む)、トロンピン、乾燥濃縮人活性化プロテインC

自給率0%のもの

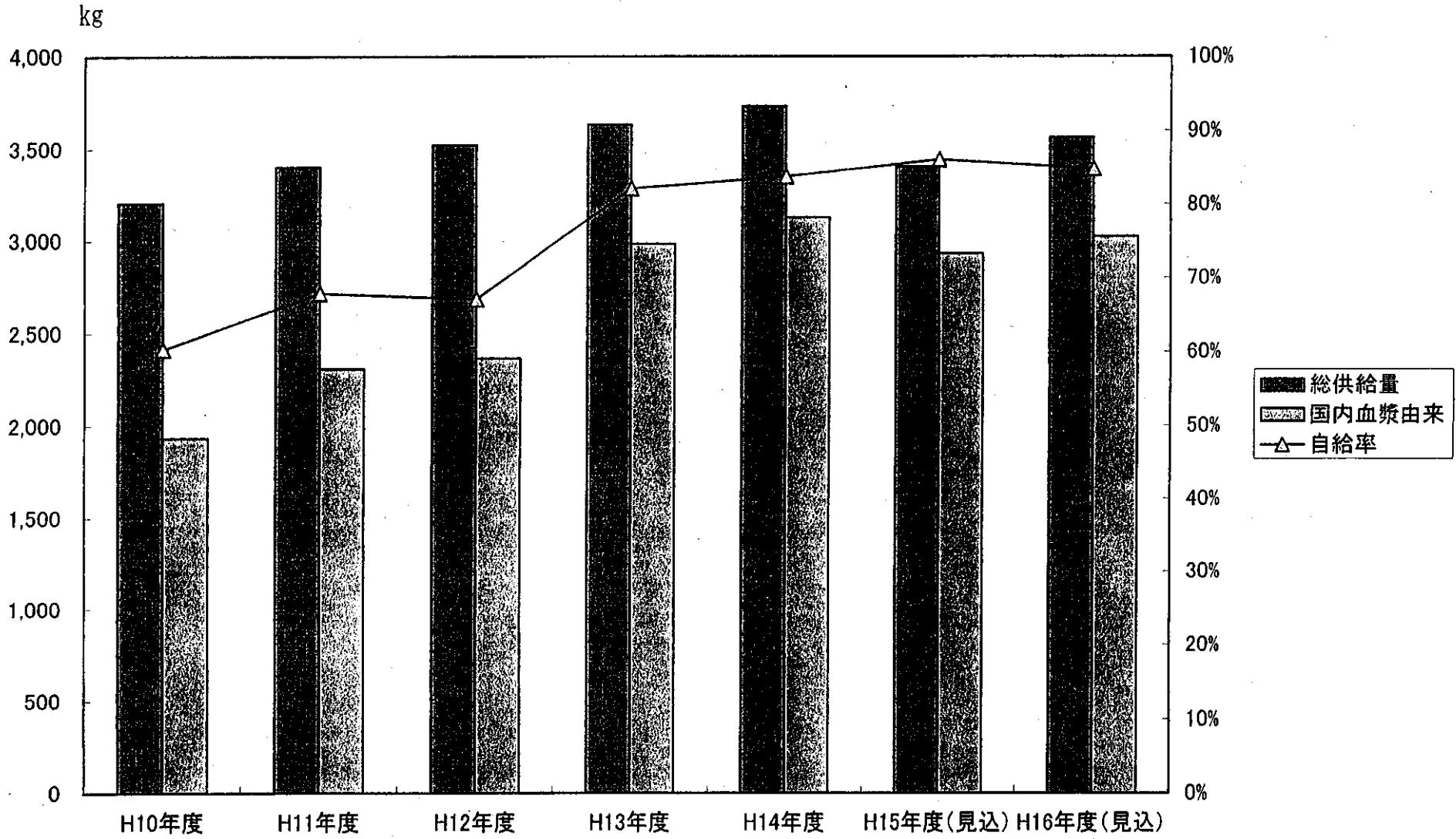
インヒター製剤、乾燥濃縮血液凝固第XIII因子、乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン、抗破傷風人免疫グロブリン、人ハプトグロビン、乾燥濃縮人CI-インアクチベーター

乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ製剤の供給量と自給率

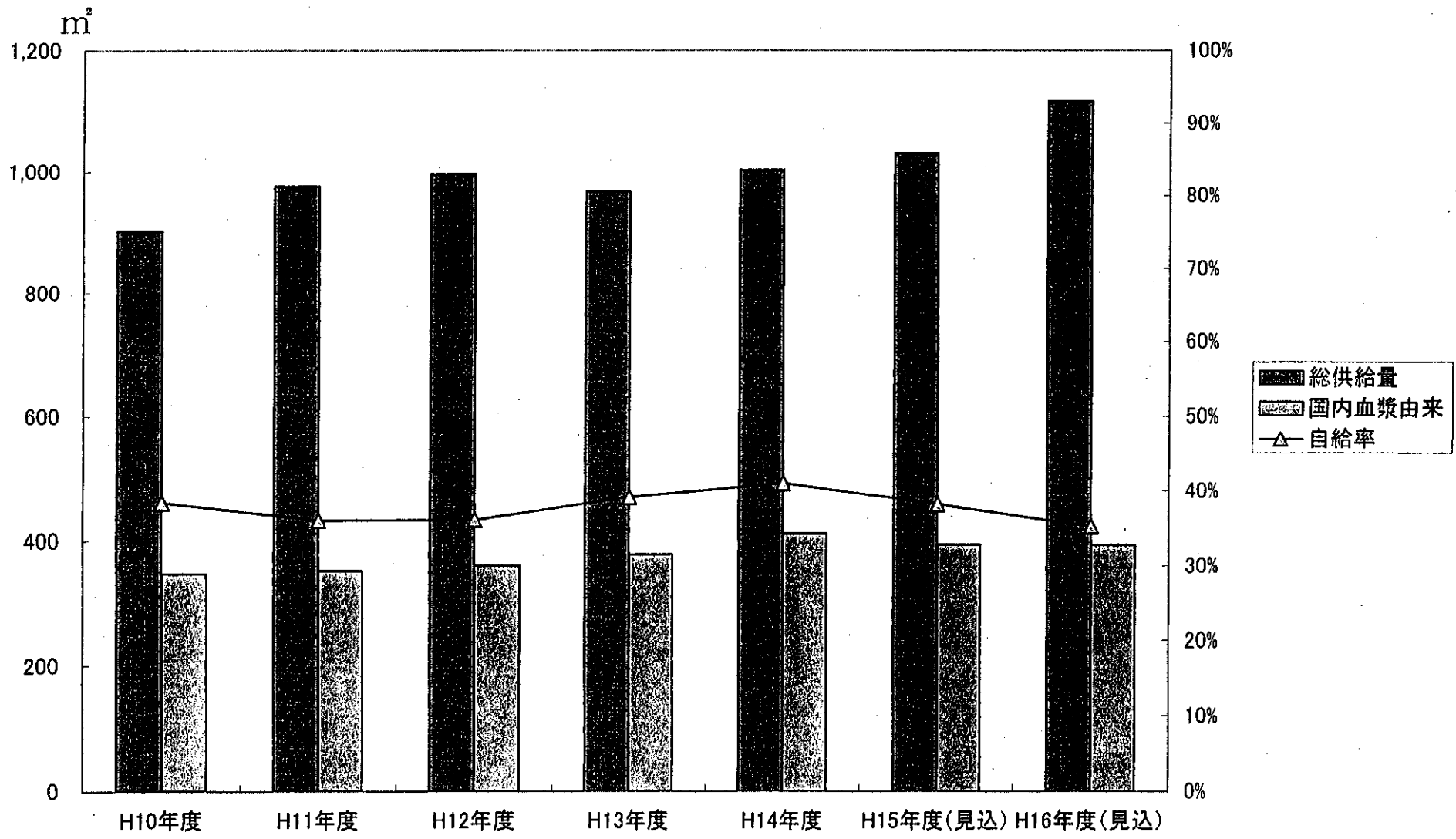
万単位



免疫グロブリン製剤の供給量と自給率

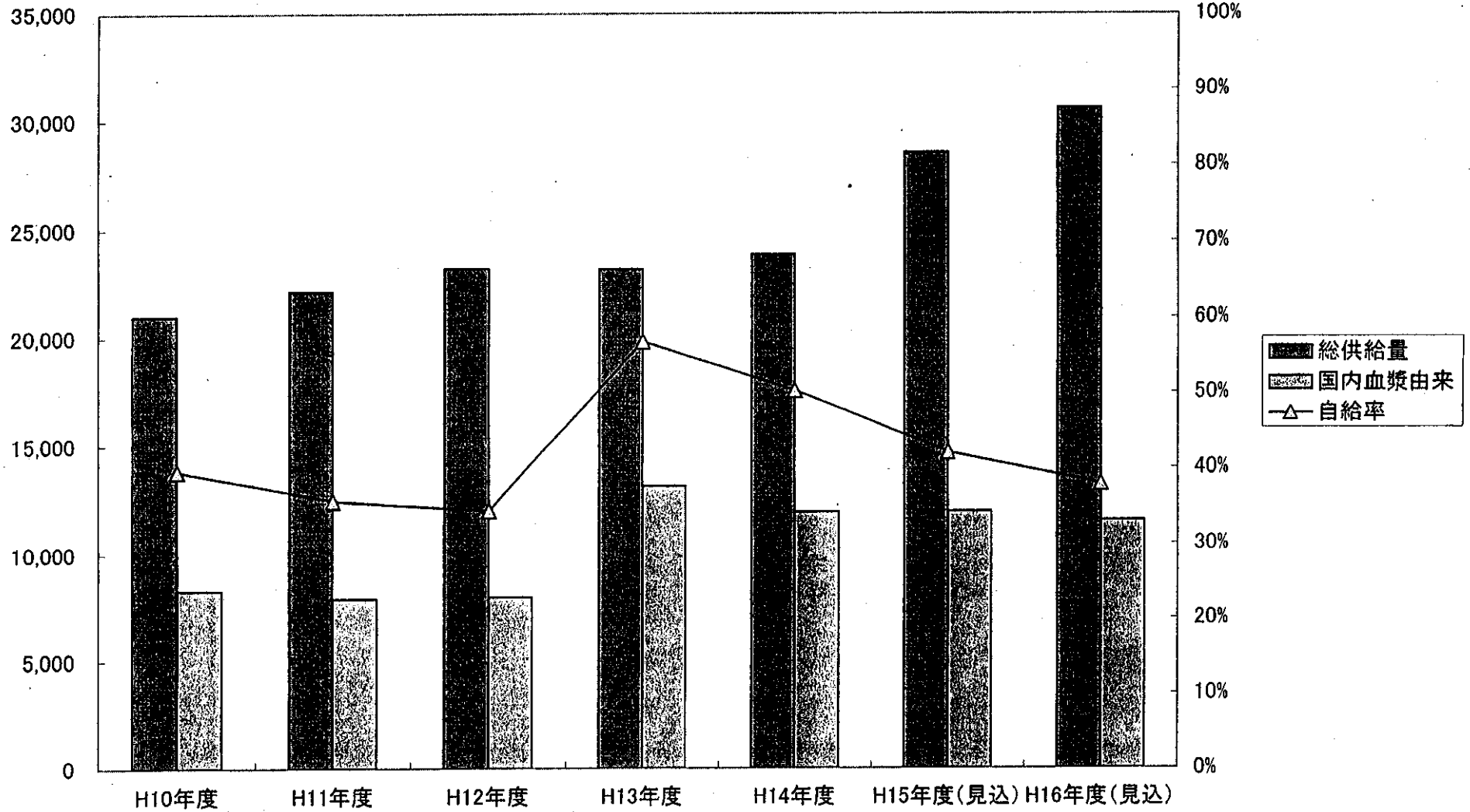


組織接着剤の供給量と自給率

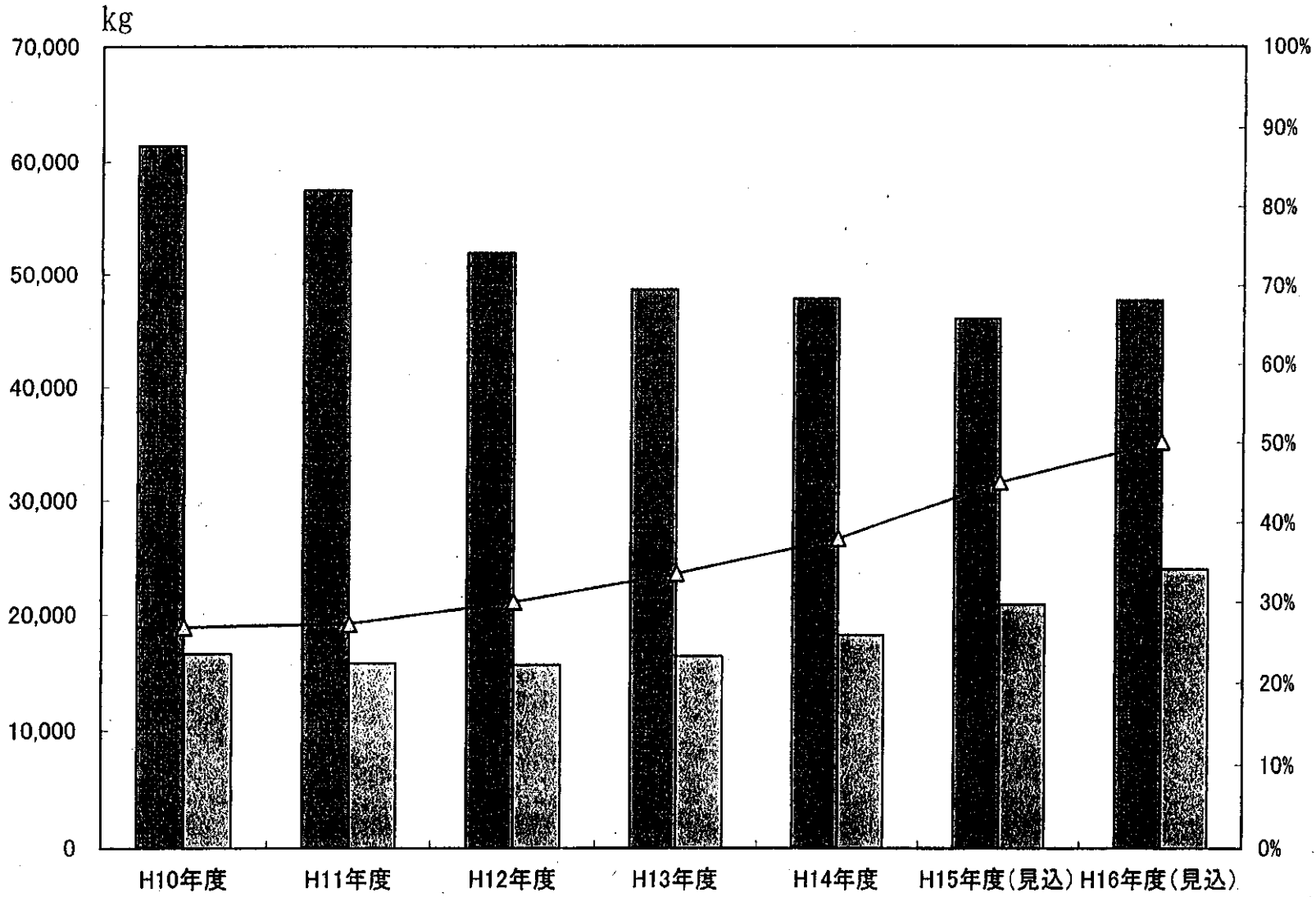


血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量と自給率
(遺伝子組換え型含む)

万単位

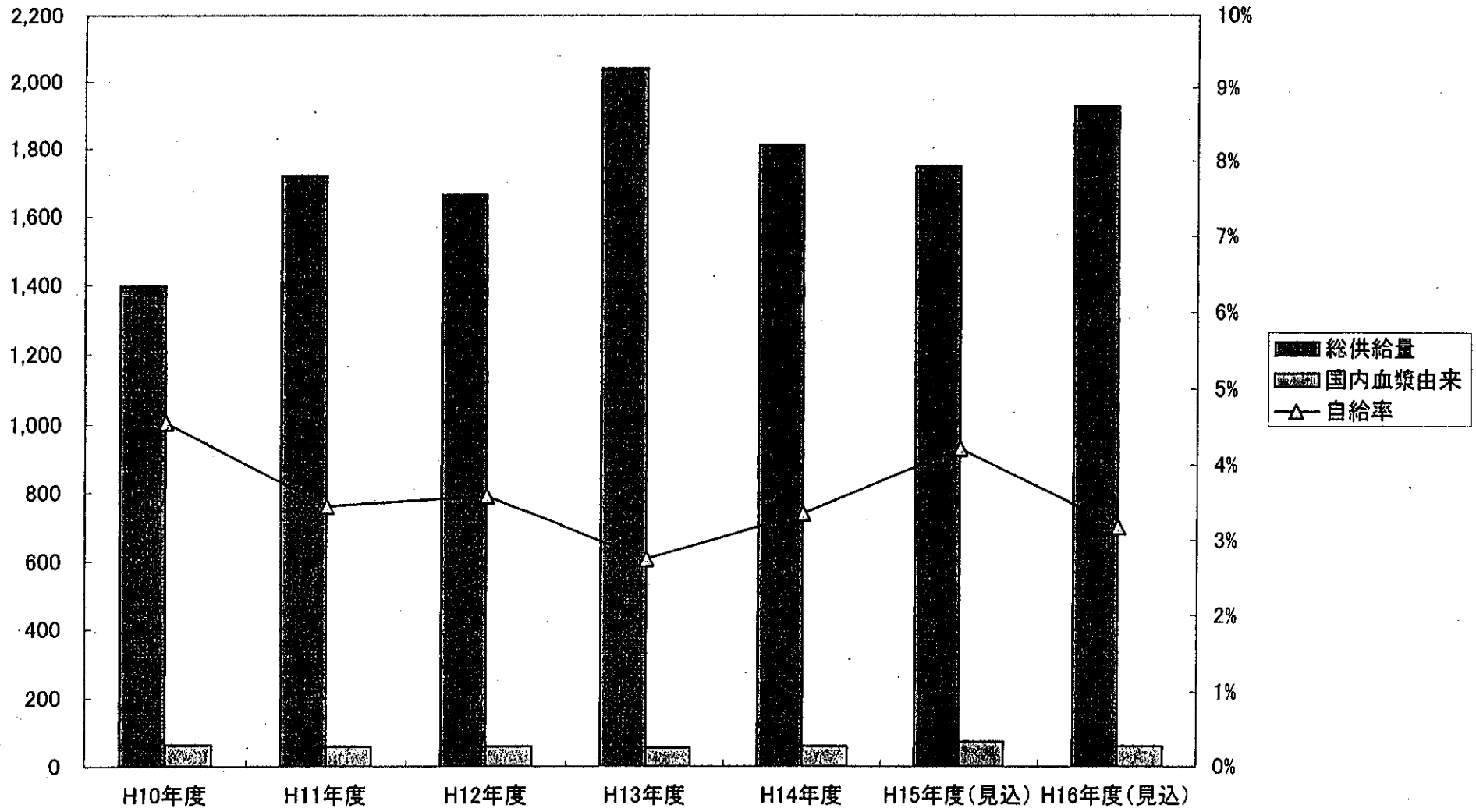


アルブミン製剤の供給量と自給率



抗HBs人免疫グロブリン製剤の供給量と自給率

万単位



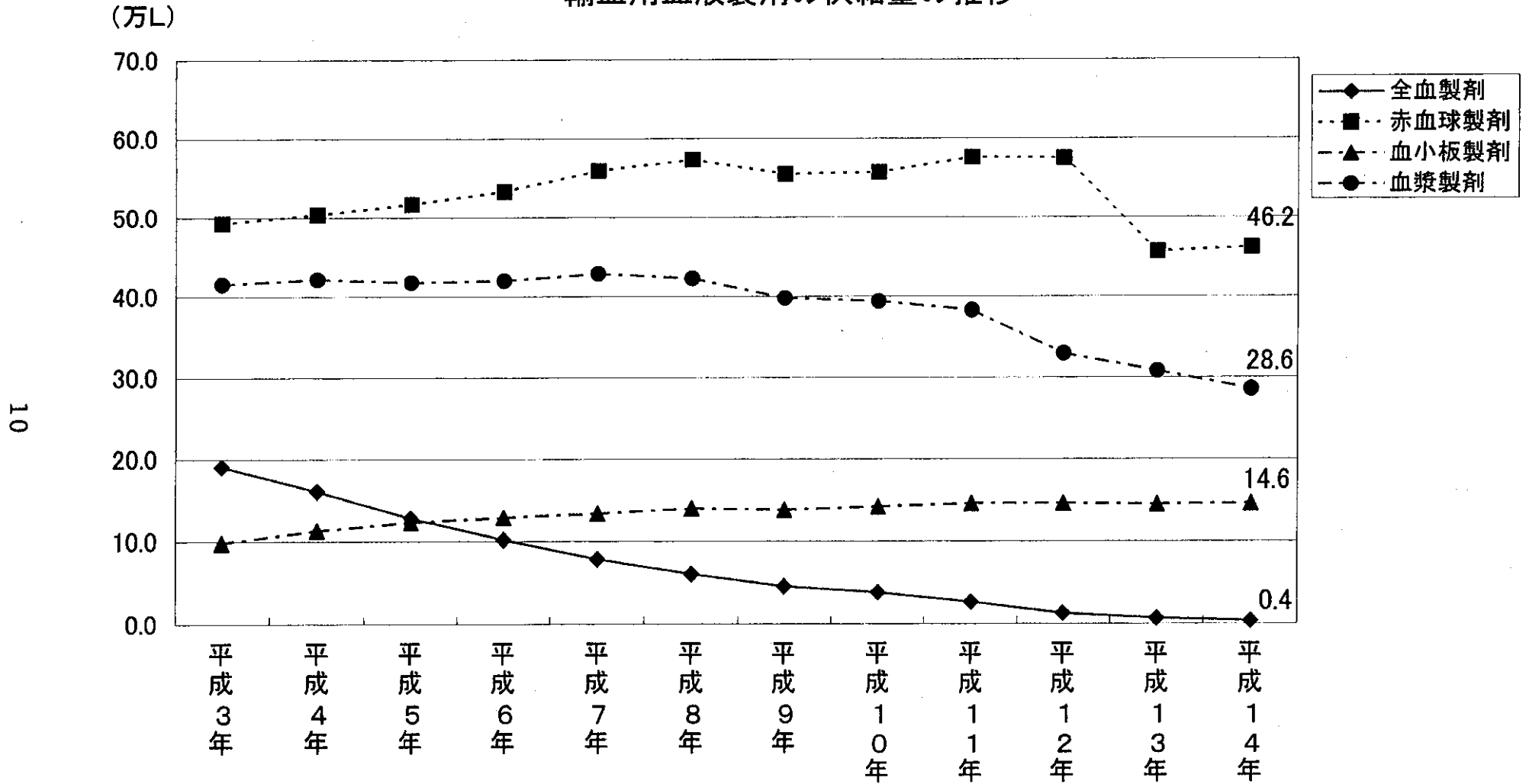
血漿分画製剤の分類表

分 類	製品の種類	国内血漿	外国血漿
アルブミン	加熱人血漿たん白	○	○
	人血清アルブミン	○	○
乾燥人フィブリノゲン	乾燥人フィブリゲン	○	
組織接着剤	フィブリゲン加第XⅢ因子	○	○
	フィブリゲン配合剤		○
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	○	
	遺伝子組換え型血液凝固第Ⅷ因子		○
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体(国内製剤)	○	
	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	○	
インヒビター製剤	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体(輸入製剤)		○
	活性化プロトロンビン複合体		※
	乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体		○
	遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅷ因子		○
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第XⅢ因子	ヒト血漿由来乾燥血液凝固第XⅢ因子		○
トロンピン(人由来)	トロンピン(人由来)	○	
人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	○	○
	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン		○
	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	○	
	pH4処理酸性人免疫グロブリン		○
	乾燥pH4処理人免疫グロブリン		○
	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	○	○
	ホリエチレンジグリコール処理人免疫グロブリン	○	○
	乾燥ホリエチレンジグリコール処理人免疫グロブリン	○	
抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	○	○
	乾燥抗HBs人免疫グロブリン		○
	ホリエチレンジグリコール処理抗HBs人免疫グロブリン		○
	乾燥ホリエチレンジグリコール処理抗HBs人免疫グロブリン		※
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン		○
抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン		○
	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン		○
	ホリエチレンジグリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン		○
	乾燥ホリエチレンジグリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン		※
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	○	○
乾燥濃縮人活性化プロテインC	乾燥濃縮人活性化プロテインC	○	
人ハプトグロビン	人ハプトグロビン		○
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	乾燥濃縮人C1-インアクチベーター		○

注1. 安全な血液製剤の安定供給等の確保に関する法律施行規則に掲げる需給計画の対象となる血液製剤をその適応により分類した。

注2. ※印の製剤は現在製品の取り扱いがないものである。

輸血用血液製剤の供給量の推移



(出所)「血液事業関係資料集 平成14年度版」(財団法人 血液製剤調査機構)

アルブミン製剤使用量とFFP使用量の関連について (都道府県別解析)

